

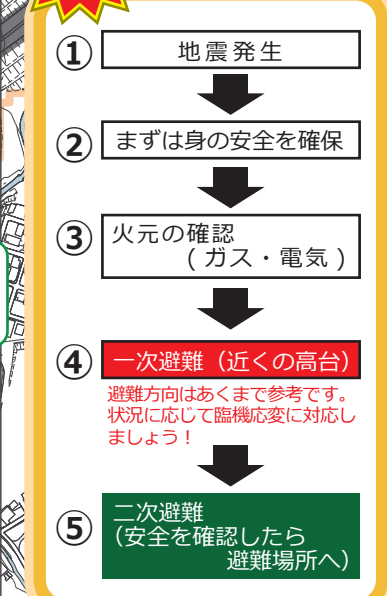
# 東山ため池 ハザードマップ

このマップは、大雨や巨大地震など様々な要因によって、万が一、ため池が決壊した場合に想定される最大の浸水範囲や浸水深を示し、地域の方々が安全に避難できるように役立ていくための情報を提供する目的で作成したものです。

## 凡例

ため池の決壊による被害	浸水想定区域	<ul style="list-style-type: none"> <li>2.0m以上の区域</li> <li>1.0m～2.0m未満の区域</li> <li>0.5m～1.0m未満の区域</li> <li>0.2m～0.5m未満の区域</li> <li>0.2m未満の区域</li> </ul>
	はん濫の到達時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>水の流れ 5分</li> <li>10分</li> </ul>
その他の注意情報	海拔高度 5m 19m 30m	津波浸水想定区域 浸水実績 鉄塔
	うるま市防災減災マップ 津波(海拔高度)より作成	
地域情報	主要道路 その他施設	警察

## 大きなゆれを感じたら



### 避難情報の見方

① 緊急時 命を守るために一時的に災害から避難しましょう

➡ 避難方向 (参考)

🚶 一時避難場所

② 災害後 避難生活を送る事ができる村指定の避難場所へ向かいましょう

🏠 収容避難所  
伊波小学校 体育館 校舎  
石川高等学校 体育館

## 東山ため池

貯水量: 38,400m<sup>3</sup>  
堤高: 14.0m

(一時避難場所)  
市民の森公園  
海拔 | 50m 以上

(一時避難場所)  
県立石川青少年の家  
海拔 | 50m 以上

(一時避難場所)  
東山ふれあい公園  
海拔 | 約 27m

東山集会所  
一時避難として  
利用可能

### 防災マメ知識 ②

#### 地震時の津波の危険性

地震の際にはため池の決壊のほか、津波にも注意が必要です。おちついて状況を確認し、避難をはじめましょう。

	予想される津波の高さ		
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	
津波警報	10m (5m<高さ≤10m) 5m (3m<高さ≤5m)	高い	
津波注意報	3m (1m<高さ≤3m) 1m (20cm<高さ≤1m)	表記しない	

### 防災マメ知識 ①

#### 気象情報(大雨)の種類と基準

大雨注意報	大雨による災害(土砂災害や低地の浸水など)が発生するおそれがあるとき。
大雨警報	大雨による重大な災害が発生するおそれがあるとき。
特別警報	ただちに命を守る行動を! 大雨による経験したことが無いような重大な災害の危険性が著しく高まっているとき。

チリ津波(1960)で国道まで浸水

うるま市IT事業支援センター

火力発電所

ため池の亀裂や漏水などの異常を発見した場合、すぐに避難して、地域の安全のために行政への連絡をお願いします。

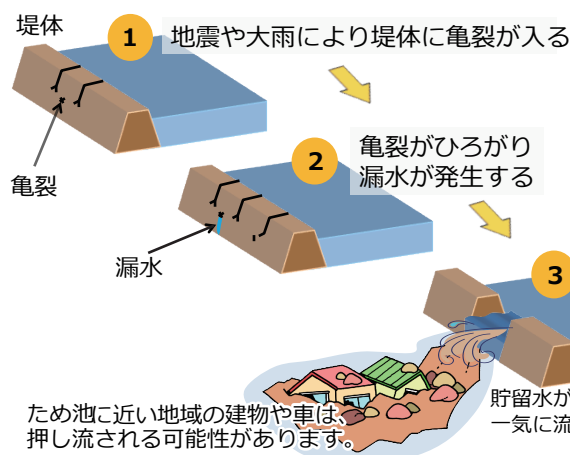
うるま市 企画部 防災基地渉外課  
098-979-6760



# 1. ため池 決壊の主な原因とメカニズム

ため池の決壊は主に大雨と地震によって引き起こされます。決壊の原因とそのメカニズムを知って、災害時に備えましょう。

## ため池決壊のメカニズム



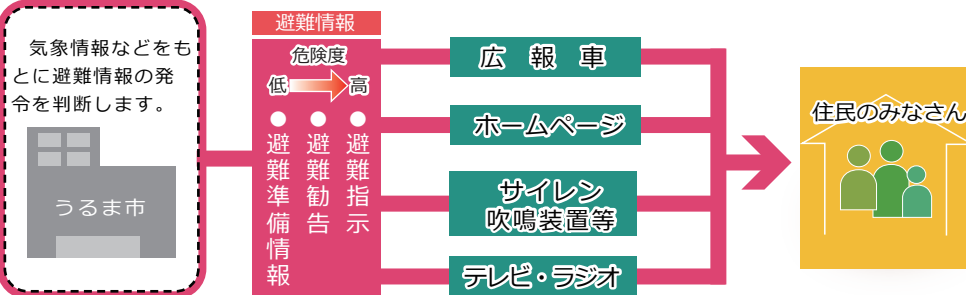
東日本大震災では…福島県の藤沼貯水池が決壊し、8名の人命が失われました。池の決壊は甚大な被害をまねくおそれがあります。

- ◆ 大きな地震や大雨によって、万が一にもため池の堤体が決壊した場合、一度にたくさんの水や土砂が下流に向けて流れ出します。
- ◆ ため池に近い場所では、水の流れが早く、押し流す力も強いいため、建物や車でさえも流される可能性があります。
- ◆ **水の流れが毎秒1メートルを超えると、50cmの水深でも立っていることができなくなります。**すみやかに避難しましょう。

## ため池の決壊は

予測が困難なため、避難情報が間に合わないおそれがあります。**早めの避難**を心がけましょう！

## 避難情報の伝達経路



# 2. ため池 ハザードマップの使い方は?

1 このハザードマップで **ご自宅の場所**を確認しましょう。

2 次に、**ため池の場所**を確認しましょう。

3 ため池の決壊による「**浸水範囲**」と「**浸水深**」を確認しましょう。

4 ご自宅が**浸水する可能性**があるかどうか、考えましょう。

浸水範囲に入らなくても、浸水の可能性があるので注意しましょう。

5 ご自宅が浸水する場合、**一時避難場所**（緊急的に命の安全を確保できる場所）への避難ルートを考えましょう。

ため池が決壊したら、早い場所では数分で決壊流が到達する可能性があります。できるだけ早く、かつ安全なルートを選ぶ必要があります。まずは命を守ることを最優先に考えましょう。また、地震後は町の様相が変化します。家屋の倒壊、電柱や塀の倒壊、火災の危険なども想像しておくことが大切です。

6 一時避難場所から、**避難所**（避難所生活が送れる場所）へのルートも考えておきましょう。

## うるま市防災減災マップ



うるま市ではこの他に地域の防災マップを作成しています。市のホームページからダウンロードするか、うるま市にて配布していますので、その他の災害の情報も確認しておきましょう。

# 3. 避難を知ろう！



大雨でため池の水位が急激に上昇し、堤体に浸透して強度が低下したり、堤体を越えた水によって浸食されて、決壊が発生します。

## 大雨時のみなさんの行動

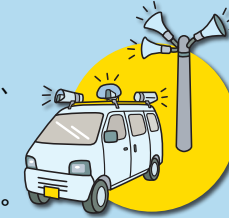
### 1：情報の収集

テレビやラジオなどの気象情報などをこまめにチェックしましょう。気象庁から、注意報・警報などが発表されます。



### 2：身の危険を感じたら

市からの避難情報があったり、身の危険を感じたら、すみやかに動きやすく安全な服装での避難を始めましょう。



大規模な地震で堤体が損傷を受け、亀裂が入り漏水が起こることで、強度が低下し、水をとどめることができなくなり、決壊が発生します。

## 地震時のみなさんの行動

### 1：まずは命の安全を！

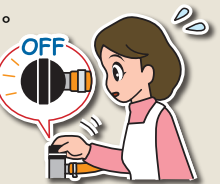
地震が起きたら、まず身の安全を確保してください。

### まず、身の安全！



### 2：二次被害の防止（可能であれば）

火元を確認し、消してください。可能であれば、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓をしめてください。外に出るときは歩きやすい靴を履くようにしましょう。



## 避難をはじめましょう！

# 避難時の注意点



- 避難路は様々な危険が想定されます。**臨機応変に危険を避け、橋は極力渡らないように一時避難場所を目指してください。**特に夜間は足元が暗く危険です。懐中電灯などを用意しましょう。
- 大雨の際には**段差や水路・マンホールなどに十分注意**しながら歩きましょう。すでに浸水が始まっている場合などは無理をせず高い場所で救援を待ちましょう。
- 大雨や地震の時には**津波や土砂災害などのため池の決壊以外の災害**が発生している可能性があります。他の災害にも十分注意を払いましょう。
- まずは**自分の命を守り**、可能であれば近所の方や、一人暮らしのお年寄りなど、助けが必要な方にも声をかけて避難しましょう。



## 安否情報の確認 災害用伝言ダイヤル171

「171」をダイヤルし、ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください。

**171**  
171番にダイヤル

### 伝言を録音する場合

1 ⇒ ((0000))□□-□□□□ ⇒ 伝言を吹き込む

被災地の人は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の人の電話番号を市外局番から入力

2 ⇒ ((0000))□□-□□□□ ⇒ 伝言を聞く

### 伝言を再生する場合

イナイ  
**忘れて171? 災害伝言171**  
などと覚えてください